



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社
コード番号 2533 URL <http://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 牛込 真澄

TEL 03-3575-2777

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	55,857	△1.9	963	△25.7	1,002	△7.1	536	△20.0
28年12月期第3四半期	56,947	△2.0	1,298	145.2	1,078	172.4	670	353.0

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 484百万円 (△12.9%) 28年12月期第3四半期 555百万円 (121.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	8.83	—
28年12月期第3四半期	10.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	49,605	20,513	37.0
28年12月期	52,310	20,940	35.9

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 18,355百万円 28年12月期 18,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	7.00	7.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	78,000	△1.5	2,100	1.0	1,950	3.6	950	55.5
							円 銭	
								15.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	65,586,196 株	28年12月期	65,586,196 株
29年12月期3Q	5,155,063 株	28年12月期	3,566,982 株
29年12月期3Q	60,761,106 株	28年12月期3Q	62,733,669 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

○第3四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢に改善の動きが見られ緩やかな景気回復基調にあるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動などのリスクも多く、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは中長期戦略「長期ビジョン100」の実現、「中期経営計画2020」の達成に向けて、グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、「長期ビジョン100」で掲げた重要課題である5本の柱への取組みを進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、55,857百万円(前年同期比1.9%減)となりました。利益面では、営業利益は963百万円(前年同期比25.7%減)、経常利益は1,002百万円(前年同期比7.1%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は536百万円(前年同期比20.0%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	27,744	99.2
		チューハイ	4,676	84.8
		清酒	3,686	92.0
		合成清酒	2,065	93.1
		販売用アルコール	5,513	100.3
		みりん	320	92.6
		44,007	96.6	
	洋酒部門	4,537	102.2	
その他の部門	887	92.8		
	49,431	97.0		
加工用澱粉		2,831	96.1	
酵素医薬品		3,332	119.7	
不動産		247	99.7	
その他		14	96.8	
合 計		55,857	98.1	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

【酒類事業】

酒類事業については、国内の人口減少や少子高齢化により市場の伸張が期待しにくく、企業間の販売競争も激化しております。また、6月に施行された改正酒税法による消費活動への影響も懸念されております。このような環境の下、消費者の嗜好の変化や多様化に対応すべく商品の拡充を行いました。売上高は49,431百万円(前年同期比3.0%減)となりました。利益面につきましては、346百万円の営業損失(前年同期は285百万円の営業利益)となりました。

和酒部門のうち焼酎においては、本格焼酎の「博多の華」シリーズ、甲類焼酎の「北海道ビッグマン」シリーズ、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」などが好調に推移いたしました。売上高は減少いたしました。発売25周年を迎えるしそ焼酎「鍛高譚(たんだかたん)」では、ブランドの認知拡大に向けた施策として、WEB動画による動画広告の公開のほか、国内最大級の音楽ロックフェスティバルへ販売ブースを出店いたしました。また、発売35周年を迎える本格焼酎の「博多の華 むぎ」シリーズでは、消費者キャンペーンを実施するなど、積極的に販売促進活動を展開しております。

チューハイ、カクテル等の低アルコール飲料においては、全国のご当地素材を使用したチューハイ「NIPPON PREMIUM」シリーズが好調に推移いたしました。PB商品の減少により売上高は減少いたしました。

清酒、合成清酒については、引き続き市場が縮小しているため売上高は減少いたしました。

アルコールについては、工業用アルコールは減少いたしました。甲類焼酎等に使用される酒類原料用アルコールが増加したため、売上高は増加いたしました。

これらの結果、和酒部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。

洋酒部門においては、輸入ワインの売上高は減少したものの、「ウイスキー 香薫(こうくん)」やPB商品のウイスキーが伸張した結果、売上高は増加いたしました。なお、秋田県醗酵工業の「デラックス 梅の実しずく」が「全国梅酒品評会2017」において、初出品で金賞を受賞しております。

その他、日本初の本格的ワイン醸造場として開設し、来年で115年目を迎えるシャトーカミヤの施設名を「牛久シャトー」に名称変更いたしました。茨城県牛久市を代表するランドマークとしての役割を担い、地域への貢献活動、文化的活動をさらに発展させ、地元根付いた事業を展開してまいります。

【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業については、シリアル食品用及び菓子用グリッツの販売数量が増加したものの、ビール用グリッツの販売数量が減少したため、売上高は2,831百万円(前年同期比3.9%減)、営業利益は180百万円(前年同期比22.4%減)となりました。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業については、酵素部門における海外での販売数量が好調に推移したことなどにより、売上高は3,332百万円(前年同期比19.7%増)、営業利益は950百万円(前年同期比58.3%増)となりました。

【不動産事業】

不動産事業については、売上高は247百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は172百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産につきましては、49,605百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,705百万円の減少となりました。これは主に季節要因による売上債権の減少によるものであります。

負債につきましては、29,092百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,277百万円の減少となりました。これは主に季節要因による未払酒税及び未払金の減少によるものであります。

純資産につきましては、20,513百万円となり、前連結会計年度末と比較して427百万円の減少となりました。これは主に自己株式の取得によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年8月4日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(株式給付信託(BBT))

当社は、平成29年3月23日開催の第110期定時株主総会決議に基づき、取締役(社外取締役を除きます。)の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」(以下「本制度」といいます。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。)を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める「役員株式給付規程」に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下「当社株式等」といいます。)が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、139百万円及び495,200株であります。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,888	1,471
受取手形及び売掛金	19,791	16,582
商品及び製品	6,264	6,529
仕掛品	192	266
原材料及び貯蔵品	1,151	1,112
繰延税金資産	623	648
その他	611	451
貸倒引当金	△23	△8
流動資産合計	30,500	27,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,302	25,448
減価償却累計額	△18,625	△18,745
建物及び構築物（純額）	6,676	6,702
機械装置及び運搬具	32,392	31,651
減価償却累計額	△29,361	△28,889
機械装置及び運搬具（純額）	3,030	2,761
その他	2,037	2,041
減価償却累計額	△1,851	△1,853
その他（純額）	185	187
土地	8,825	9,851
建設仮勘定	21	89
有形固定資産合計	18,739	19,592
無形固定資産		
のれん	264	216
その他	333	284
無形固定資産合計	598	500
投資その他の資産		
投資有価証券	1,826	1,778
繰延税金資産	255	306
その他	396	378
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	2,471	2,456
固定資産合計	21,809	22,549
資産合計	52,310	49,605

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,234	4,782
電子記録債務	1,172	1,171
短期借入金	3,060	4,650
リース債務	23	29
未払金	4,244	3,533
未払酒税	8,881	7,137
未払法人税等	412	102
賞与引当金	61	399
役員賞与引当金	54	36
設備関係支払手形	159	382
その他	1,410	1,017
流動負債合計	24,714	23,242
固定負債		
長期借入金	1,600	800
長期預り金	3,192	3,166
リース債務	43	43
退職給付に係る負債	1,295	1,258
役員株式給付引当金	—	10
資産除去債務	122	122
繰延税金負債	291	337
その他	110	110
固定負債合計	6,654	5,849
負債合計	31,369	29,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,580	5,594
利益剰余金	6,411	6,513
自己株式	△759	△1,194
株主資本合計	18,179	17,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	542	504
繰延ヘッジ損益	81	22
退職給付に係る調整累計額	△42	△31
その他の包括利益累計額合計	581	495
非支配株主持分	2,179	2,157
純資産合計	20,940	20,513
負債純資産合計	52,310	49,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	56,947	55,857
売上原価	46,105	45,442
売上総利益	10,842	10,415
販売費及び一般管理費	9,543	9,451
営業利益	1,298	963
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	20
受取賃貸料	60	61
雑収入	32	77
営業外収益合計	113	159
営業外費用		
支払利息	90	71
操業休止等経費	140	28
為替差損	86	—
雑損失	15	20
営業外費用合計	332	121
経常利益	1,078	1,002
特別利益		
固定資産売却益	26	7
受取保険金	44	—
その他	0	—
特別利益合計	72	7
特別損失		
固定資産除売却損	12	11
投資有価証券評価損	7	—
事業再編損失	—	234
その他	1	2
特別損失合計	21	249
税金等調整前四半期純利益	1,129	760
法人税等	392	193
四半期純利益	737	567
非支配株主に帰属する四半期純利益	66	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	670	536

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	737	567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△195	△37
繰延ヘッジ損益	△7	△57
退職給付に係る調整額	20	11
その他の包括利益合計	△181	△83
四半期包括利益	555	484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	491	450
非支配株主に係る四半期包括利益	63	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月30日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において、自己株式1,088,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が293百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,194百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	50,955	2,946	2,782	248	56,932	15	—	56,947
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	—	—	—	10	—	△10	—
計	50,965	2,946	2,782	248	56,942	15	△10	56,947
セグメント利益	285	232	600	172	1,290	7	—	1,298

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。
 2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	49,431	2,831	3,332	247	55,842	14	—	55,857
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	7	—	—	—	7	—	△7	—
計	49,439	2,831	3,332	247	55,850	14	△7	55,857
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△346	180	950	172	956	7	—	963

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。
 2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。
 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成29年12月期 第3四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

平成29年11月8日

1. 要約連結損益計算書

百万円未満切捨て

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成28年1月1日 至平成28年9月30日	自平成29年1月1日 至平成29年9月30日		
酒類事業	50,955	49,431	△ 1,523	97.0
加工用澱粉事業	2,946	2,831	△ 114	96.1
酵素医薬品事業	2,782	3,332	549	119.7
不動産事業その他	263	262	△ 1	99.6
売上高	56,947	55,857	△ 1,089	98.1
売上原価	46,105	45,442	△ 663	98.6
売上総利益	10,842	10,415	△ 426	96.1
販売費及び一般管理費	9,543	9,451	△ 92	99.0
酒類事業	285	△ 346	△ 632	-
加工用澱粉事業	232	180	△ 52	77.6
酵素医薬品事業	600	950	349	158.3
不動産事業その他	179	180	0	100.5
営業利益	1,298	963	△ 334	74.3
営業外収益	113	159	46	140.9
営業外費用	332	121	△ 211	36.5
経常利益	1,078	1,002	△ 76	92.9
特別利益	72	7	△ 64	10.8
特別損失	21	249	228	1,179.9
税金等調整前四半期純利益	1,129	760	△ 368	67.3
法人税等合計	392	193	△ 199	49.3
四半期純利益	737	567	△ 169	77.0
非支配株主に帰属する四半期純利益	66	31	△ 35	46.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	670	536	△ 133	80.0
1株当たり四半期純利益※円	10.69	8.83	△ 1.86	82.6

2. セグメント別売上高

百万円未満切捨て

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成28年1月1日 至平成28年9月30日	自平成29年1月1日 至平成29年9月30日		
焼酎	27,978	27,744	△ 234	99.2
（甲類焼酎）	(11,393)	(11,002)	(△ 390)	(96.6)
（乙類焼酎）	(16,585)	(16,742)	(156)	(100.9)
チューハイ	5,513	4,676	△ 837	84.8
清酒	4,008	3,686	△ 321	92.0
合成清酒	2,217	2,065	△ 152	93.1
アルコール	5,495	5,513	18	100.3
みりん	346	320	△ 25	92.6
洋酒	4,439	4,537	97	102.2
その他	955	887	△ 68	92.8
酒類計	50,955	49,431	△ 1,523	97.0
加工用澱粉	2,946	2,831	△ 114	96.1
酵素医薬品	2,782	3,332	549	119.7
不動産	248	247	△ 0	99.7
その他	15	14	△ 0	96.8
合計	56,947	55,857	△ 1,089	98.1

3. 利益増減要因

百万円未満切捨て

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	△ 632	原材料コストの上昇による原価増△270 売上高減少による総利益減△250 運送費など販管費の減+10 製品構成の影響等△122
加工用澱粉事業	△ 52	売上高の減少
酵素医薬品事業	349	売上高の増加
不動産事業その他	0	
営業利益	△ 334	
営業外収益	46	
営業外費用	211	為替差損、操業休止等経費の減
経常利益	△ 76	
特別利益	△ 64	前年:受取保険金
特別損失	△ 228	当年:事業再編損失
税金等調整前四半期純利益	△ 368	
法人税等	199	
四半期純利益	△ 169	
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 133	

4. 要約連結貸借対照表

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成28年12月31日	当第3四半期 連結会計期間 平成29年9月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	1,888	1,471	△ 416	77.9	
受取手形及び売掛金	19,791	16,582	△ 3,208	83.8	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,609	7,908	299	103.9	
繰延税金資産	623	648	25	104.1	
その他	611	451	△ 160	73.8	
貸倒引当金	△ 23	△ 8	15	-	
流動資産合計	30,500	27,055	△ 3,445	88.7	
建物	5,468	5,554	86	101.6	
土地	8,825	9,851	1,026	111.6	
その他	4,446	4,186	△ 259	94.2	
有形固定資産計	18,739	19,592	853	104.6	
無形固定資産	598	500	△ 97	83.7	
投資有価証券	1,826	1,778	△ 48	97.4	
長期前払費用	172	151	△ 20	88.2	
繰延税金資産	255	306	50	119.8	
その他	224	226	2	101.1	
貸倒引当金	△ 7	△ 7	0	-	
投資その他の資産計	2,471	2,456	△ 15	99.4	
固定資産合計	21,809	22,549	740	103.4	
資産合計	52,310	49,605	△ 2,705	94.8	

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成28年12月31日	当第3四半期 連結会計期間 平成29年9月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,407	5,953	△ 454	92.9	
短期借入金	3,060	4,650	1,590	152.0	
未払金	4,244	3,533	△ 710	83.3	季節要因による売上高減(割戻減)
未払酒税	8,881	7,137	△ 1,743	80.4	季節要因による売上高減
その他	2,121	1,967	△ 153	92.8	未払法人税及び未払消費税の減
流動負債合計	24,714	23,242	△ 1,472	94.0	
長期借入金	1,600	800	△ 800	50.0	
その他	5,054	5,049	△ 5	99.9	
固定負債合計	6,654	5,849	△ 805	87.9	
負債合計	31,369	29,092	△ 2,277	92.7	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,580	5,594	13	100.2	
利益剰余金	6,411	6,513	102	101.6	
自己株式	△ 759	△ 1,194	△ 434	-	自己株式の取得による減
株主資本合計	18,179	17,860	△ 318	98.2	
その他有価証券評価差額金	542	504	△ 38	93.0	
繰延ヘッジ損益	81	22	△ 59	27.3	
退職給付に係る調整累計額	△ 42	△ 31	11	-	
その他の包括利益累計額合計	581	495	△ 86	85.2	
非支配株主持分	2,179	2,157	△ 22	99.0	
純資産合計	20,940	20,513	△ 427	98.0	
負債純資産合計	52,310	49,605	△ 2,705	94.8	

自己資本比率※%	35.9	37.0	1.1	
----------	------	------	-----	--

5. 連結業績予想

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 自 平成28年 1月 1日 至 平成28年12月31日	当連結会計年度 自 平成29年 1月 1日 至 平成29年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	71,358	69,850	△ 1,508	97.9
加工用澱粉事業	3,982	3,698	△ 283	92.9
酵素医薬品事業	3,521	4,104	583	116.6
不動産事業その他	350	346	△ 4	98.8
売上高	79,212	78,000	△ 1,212	98.5
売上原価	64,021	62,979	△ 1,042	98.4
売上総利益	15,191	15,021	△ 170	98.9
販売費及び一般管理費	13,111	12,921	△ 190	98.5
酒類事業	723	507	△ 216	70.1
加工用澱粉事業	352	201	△ 151	57.0
酵素医薬品事業	769	1,171	401	152.2
不動産事業その他	234	221	△ 13	94.3
営業利益	2,079	2,100	20	101.0
営業外損益	△ 197	△ 150	47	-
経常利益	1,882	1,950	67	103.6
特別損益	△ 535	△ 350	185	-
税金等調整前当期純利益	1,346	1,600	253	118.8
法人税等合計	657	580	△ 76	88.3
当期純利益	689	1,019	329	147.9
非支配株主に帰属する当期純利益	78	69	△ 9	88.3
親会社株主に帰属する当期純利益	610	950	339	155.5

6. 予想売上高

百万円未満切捨て

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成28年 1月 1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年 1月 1日 至 平成29年12月31日		
焼 酎	39,427	39,305	△ 121	99.7
(甲 類 焼 酎)	(15,797)	(15,416)	(△ 380)	(97.6)
(乙 類 焼 酎)	(23,630)	(23,888)	(258)	(101.1)
チ ュ ー ハ イ	7,138	6,243	△ 895	87.5
清 酒	5,908	5,473	△ 435	92.6
合 成 清 酒	3,197	2,981	△ 215	93.2
ア ル コ ー ル	7,368	7,422	53	100.7
み り ん	514	488	△ 25	95.0
洋 酒	6,560	6,720	159	102.4
そ の 他	1,243	1,216	△ 27	97.8
酒 類 計	71,358	69,850	△ 1,508	97.9
加 工 用 澱 粉	3,982	3,698	△ 283	92.9
酵 素 医 薬 品	3,521	4,104	583	116.6
不 動 産	329	325	△ 4	98.8
そ の 他	20	20	0	98.7
合 計	79,212	78,000	△ 1,212	98.5